

IV 水産業

1. 香川県水産業のあらまし

香川県は瀬戸内海の東部に位置し、東から播磨灘、備讃瀬戸、燧灘の3つの海域に面している。その海域には多くの島々があり、起伏の多い海底地形や複雑な潮流などにより、生息する水産動植物の種類が多く、高い生産性を背景に温暖な瀬戸内海気候とあいまって恵まれた漁業環境にある。

本県の水産業は、海面漁業・養殖業を中心に、内水面漁業・養殖業及び水産加工業からなり、水産物の安定供給をはじめとして、自然環境の保全、海洋性レクリエーションの場の提供などの多面的な機能を有し、地域社会の中で重要な役割を担っている。しかしながら、漁業就業者の高齢化や減少、水産物の消費の低迷により漁業地域の活力低下が懸念されている。

令和4年の海面漁業・養殖業を合わせた生産量は28,919トンで、前年に比べ3,438トン増加した。また、産出額（速報値）は157億円で前年に比べ8億円増加した。令和4年の本県水産業の全国に占める割合は、海面漁業・養殖業生産量は0.7%（都道府県中26位）、産出額は1.1%（同24位）となっているものの、養殖業の生産量では1.7%（17位）、産出額では2.0%（16位）と高くなっている。

本県水産業の概要と全国における位置付け

区分	香川県	全国	全国比 (%)	全国順位 (位)
漁業就業者数（平成30年）※1	1,913人	151,701人	1.3	27
うち自家漁業のみ従事者	1,355	95,669	1.4	26
雇われ就業者	558	56,032	1.0	29
海面漁業・養殖業生産量（令和4年）※2	28,919トン	3,862,831トン	0.7	26
海面漁業	13,354	2,950,992	0.5	30
海面養殖業	15,565	911,839	1.7	17
海面漁業・養殖業産出額（令和4年）	157億円	14,347億円	1.1	24
海面漁業	54	9,136	0.6	31
海面養殖業	103	5,211	2.0	16

資料：※1：農林水産省「2018年漁業センサス」、※2：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

(注)海面漁業・養殖業産出額（令和4年）は速報値。順位は秘匿県を除いたものである。

全国上位に位置する数々の水産物（令和4年）

海面漁業 生産量

順位	品目	香川県	全国	全国比
3位	いかなご	717 t	3,367 t	21.3%
6位	くろだい	119 t	2,212 t	5.4%
7位	まだい	556 t	15,501 t	3.6%
7位	かたくちいわし	8,231 t	123,241 t	6.7%
7位	くるまえび	9 t	214 t	4.2%
9位	さわら類	411 t	10,269 t	4.0%
10位	たこ類	262 t	22,285 t	1.2%
11位	すずき類	149 t	5,169 t	2.9%

海面養殖業 生産量

順位	品目	香川県	全国	全国比
4位	ふぐ類	214 t	2,812 t	7.6%
6位	のり類	9,340 t	232,490 t	4.0%
7位	ぶり類	4,591 t	113,863 t	4.0%
10位	まだい	397 t	68,088 t	0.6%
11位	かき類	808 t	165,590 t	0.5%

資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

(注)順位は秘匿県を除いたものである。